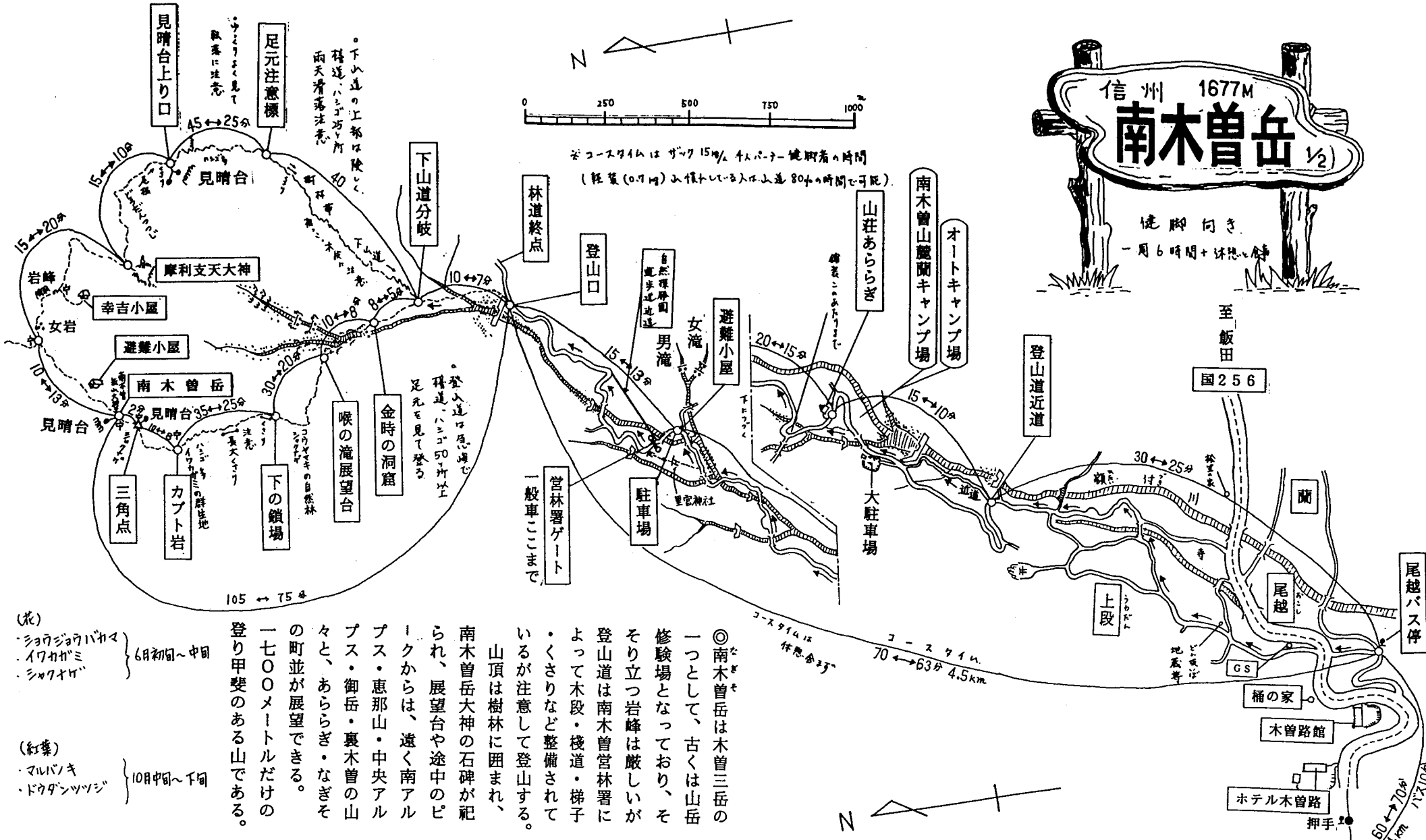


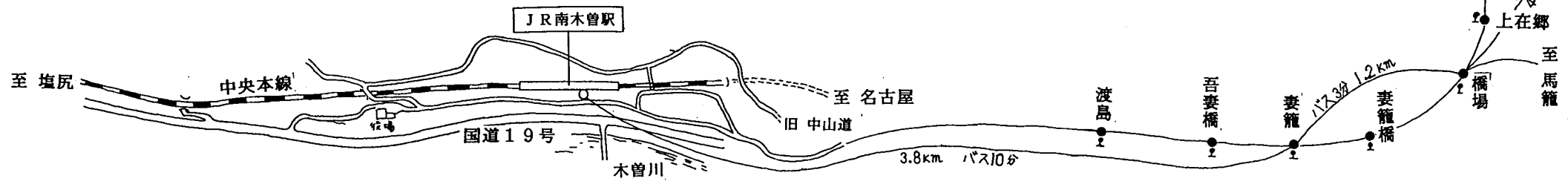
コースタイムはザック15時、4人ポテト焼酎着の時間  
(軽装(0.7kg)の備わった入山は80分の時間で可也)

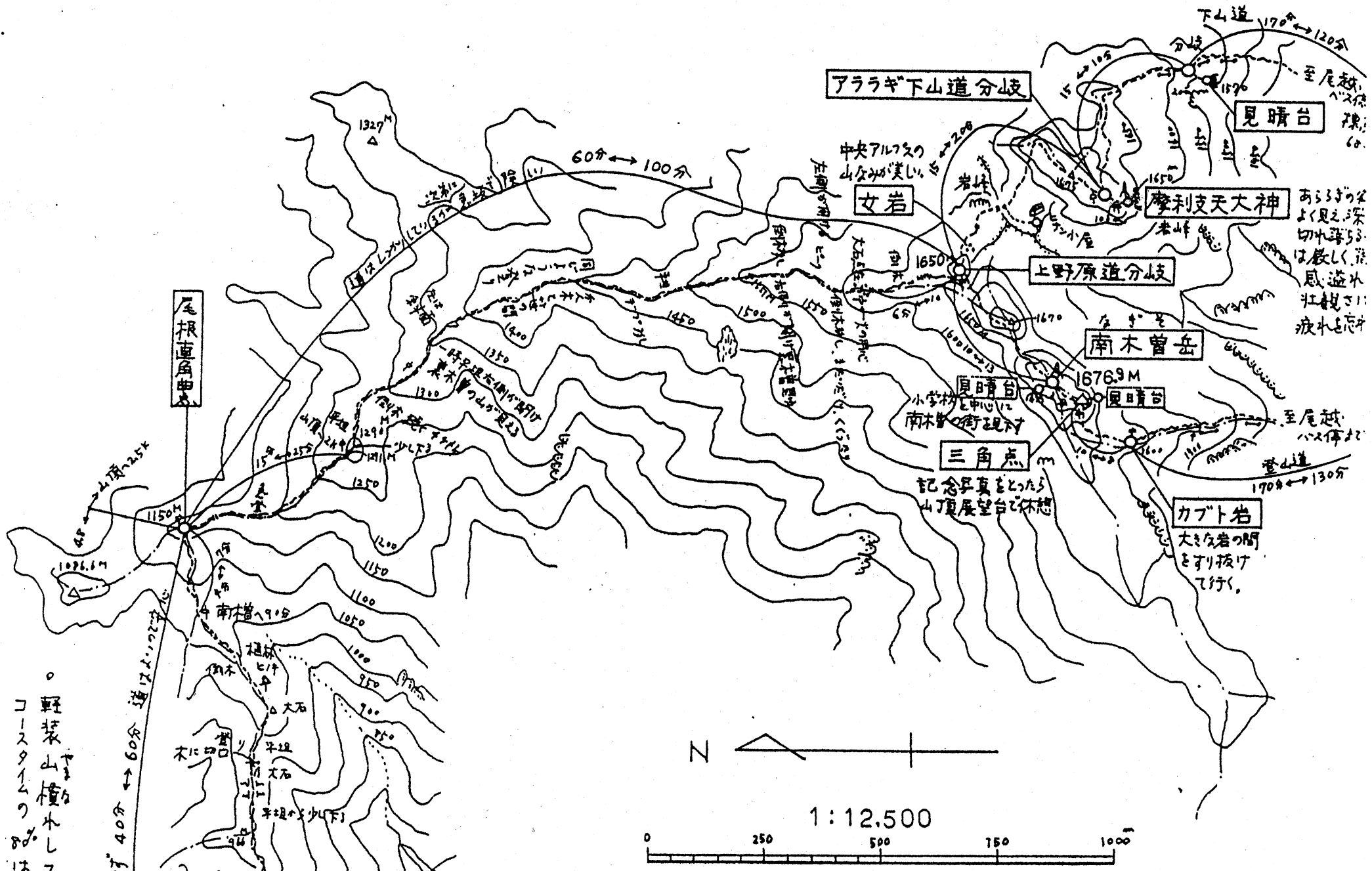


◎南木曾岳は木曾三岳の一つとして、古くは山岳修験場となっており、そそり立つ岩峰は厳しいが登山道は南木曾管林署によって木段・棧道・梯子・くさりなど整備されているが注意して登山する。山頂は樹林に囲まれ、南木曾岳大神の石碑が祀られ、展望台や途中のピークからは、遠く南アルプス・恵那山・中央アルプス・御岳・裏木曾の山々と、あららぎ・なぎその町並が展望できる。一七〇〇メートルだけの登り甲斐のある山である。

(花)  
・シロシロウバハチ  
・イワカガミ  
・シメツクサ  
} 6月初旬~中旬

(紅葉)  
・マルバノキ  
・ドウダンツツジ  
} 10月中旬~下旬





軽装山積水してゐる人でも  
コースタイムの8割はかかる。

**コースの紹介**

上野原道について (コースタイムは、ザック15%、4人パーティ健脚者の所要時間)

上野原登山道は、南木曾駅前から商店街を右へ行く。国鉄跨線橋を越え読書小学校入口の石段を過ぎたら、梨沢橋を渡らず、右へ曲り、次の橋を渡る。右側にある等覚寺の前を過ぎ、右の道を登って行く。左側に製材所があり、道は右に曲り、突き当たって左に曲って約100mほど行くと、道標があり、石段を登ると草つきのおせみさきに登ると、いったん車道に出て登山口に着く。田口好彦邸の庭先を通り抜けると道標がある。狭い踏跡を登ると、道はしっかりした山道で迷うことはない。植林とかん木、笹の間を終始行くコースで、1550mを越えなると展望はきかない。尾根直角曲点からは、登りも急になってくるが、ときどき平坦になり、最後は急峻な登りを一気に稼げば、女岩のある分岐に着く。山頂は右へ10分余り、三角点は2分先にあるが、展望を楽しむには見晴台に立つとよい。倒木に注意。下山はどちらを選んでもよい。足元に注意して下る。

